

「省エネ市民会議」					
会議年月日	26年2月12日	時間	13:30～16:00	場所	ファンケル美健(千葉工場)
出席者	椎野、小倉、平手、平手、石垣、新美、新田、磯野、平松、古川、古橋、染野、村杉、藤原、松澤、 竹岡、井戸川、竹川、山田、末廣、末廣、杉浦、難波、小山、板倉、高橋、寺本、秋谷、加藤、 和食、安井、春田(記)・・・ 参加者:35名				
議 題					
第79回省エネ市民会議「FANCLの環境活動の学習&工場見学会」を開催した。					
1, 利根運河の散策(石垣幸子:流山史跡ガイドの会) 12:40～13:30					
オランダ人のムルデル碑、運河記念碑、水位計、におどり公園の万葉歌碑など					
2, FANCLの会社概要(椎野達也:ファンケル美健 千葉工場管理Gマージャー) 13:40～14:00					
・株式会社ファンケル =設立:1981年、資本金:約100億円、従業員:約740名(パート不含)					
・株式会社ファンケル美健 千葉工場=ファンケル化粧品の製造部門、従業員:189名(内パート120名)					
1980年、それは化粧品による肌トラブルが社会問題になっていた時代。「添加物をいっさい使わず、使う人の肌を美しくする本物の化粧品を届けたい」という思いから、ファンケルの無添加化粧品は、誕生しました。高価なイメージが定着していた栄養補助食品を「サプリメント」という言葉と共に世の中へ定着させ、青汁・発芽米などの高付加価値商品を送りだしてきました。					
ファンケルの事業は、“世の中の不安や不便などの「不」を解消したい”という思いに根ざしています。化粧品、サプリメント、発芽米、青汁といった現状の事業は、日々の「不」を見極め続けるファンケルの歩みそのものです。「お客様に喜んでいただくこと」を考え、現状を否定し、「もっと何かできるはず」という思いで常に挑戦し続けます。					
3, FANCLの環境活動(小倉悦子:ファンケル CSR推進事務局) 14:00～15:00					
ファンケルは、経営の原点である「世の中の不のつく事柄の解消」を実現することが、私たちのCSR(社会的責任)であると考えています。2010年に制定されたISO26000を基本に具体的なCSR活動を実践すると共に、本年2013年に国連グローバル・コンパクトに参加、グローバル企業として10の原則を学び、グローバル経営の礎を築いてまいります。					
4, 工場見学(椎野達也:ファンケル美健 千葉工場管理Gマージャー) 15:00～16:00					
作業はクリーンルーム内で、調製から充填作業は外気から完全に遮断されたクローズドシステム。					
秤量:国内外の原材料メーカーから運ばれてきた原材料を秤量器で計ります。					
調製:原料は釜で混ぜ合わせて真空乳化釜に送られ、ここで化粧品の中身(バルク)がつけられます。					
充填:中身(バルク)をびんに詰めます。充填ブースはクラス100のクリーンブースとなっています。					
					
<次回の予定> 3月7日(金)13:30～15:30 流山市生涯学習センター(3F)大会議室					
内容:日本とドイツのエネルギー事情について(講師:長谷川平和 在日ドイツ商工会議所) 以上					

会社だけではなく 家庭でもエコを



ファンケルCSR推進事務局
小倉悦子さん



節約を楽しむ 「家族で三文の徳大作戦」

日本初の試みで、もうこれを切っ掛けに、子 践しています。また、配
1つ注目したいものがあどもたちに早寝早起きの 送作業を電子化すること
る。ファンケルの従業員 習慣をつけさせたり、休 で、紙の伝票もなくしま
やパートナーが家庭で実 みの日はなるべく外に出した」（小倉さん）
践している「家族で三文 かけたり、銭湯を体験さ 製品を賣うと、パッケ
の徳大作戦」と名付けら せたりと、面白くて楽し ーシの中に折り畳まれた
れたエコ活動だ。これは、い環境教育に目覚めた人 説明書き（能書）が入っ
電気・ガス・水道の節約にも多いそうだ。
よって環境活動につなげ、「我慢して節約するので ンケルは紙資源の無駄を
ようというのだが、た はなく、節約を楽しんで 省くために、その説明書
だの節約の押しつけでは いる感じですね。それを きをパッケージの裏
ないところがユニーク。 実践するアイデアも従業 側に印字しているのだ。
「半年単位で、総務省が 員からたくさんいたたい 「説明書はゴミ箱に捨て
発表している家族人数別 ています。活動を継続さ られることが多いので、
の『世帯別家計調査』の せるのは、楽しみながら ゴミの削減にもなるんで
平均水道光熱費を下回っ 自ら取り組むことが大事 す。箱裏能書は、単に純
ていれば、会社から本人 ですからね」 資源の削減だけでなく、
に4000円、家族1人 工場での製品作りや配 製造部門での能書を化粧
につき2000円の報奨 送過程でも、エコ活動が 箱へ入れる工程・機械・
金（ギフト券）が贈られ 目覚ましい成果を上げて 設備のエネルギーも減ら
ます。昨年の後期は、パ いる。
ートさんも含めて208 「製品画では、『箱裏能 はお客様の廃棄も少なく
家族が達成しています」 書」を約7割の製品で実 て済むんです」

1999年に完成した現在の千葉工場は、見学者の受け入れを前提に設計されております。無添加化粧品の製造工程を実際にご覧いただけたら、安全な商品をより安心してお使いいただけるのではないだろうかと考え、工場としての機能と効率を追求するだけでなく、“見せる”という観点からも機器や配管のレイアウト、作業者の動線、モノの流れなどを考慮した建築となっております。無添加化粧品の製造にあたっては、なんといっても清潔であることが重要です。防腐剤や酸化防止剤等を用いない当社の製品には、ほんのわずかなチリや雑菌の混入も許されません。そのため当社では、製造工程には特に高い清浄レベルが求められる医薬品製造に匹敵するクラス 10,000(※)のクリーンルームを採用しております。また、製造工程で唯一中身が外気に触れる作業を行う充填機部分にはクラス 100(※)のクリーンブースを設置しました。さらに、製造した化粧品を外気から完全に遮断して運ぶクローズドシステム、一つの製品をつくり終えるごとに配管や機器類を自動で洗浄するシステム、入念なチェックシステムなどを組み合わせ、徹底した衛生管理のもと、お客様に安心してお使いいただける商品づくりを実現しております。

※クラス 10,000 / クラス 100 = 直径 0.5 マイクロメートル以上の微粒子(肉眼では見えない塵芥など)が、1立方フィートあたり 10,000 個以下に管理された環境。クラス 100 では、同様の空間内で微粒子の数が 100 個以下となる。なお、1 マイクロメートルは 100 万分の 1 ミリメートル、1 フィートは 30.48 センチメートル

信頼の国際規格を認証取得



ファンケルグループでは、ISO9001(国際品質保証規格)、ISO14001(国際環境管理規格)を認証取得しています。

原料選定から生産、出荷にいたるまで、独自の厳しい基準で何段階もの検査をクリアし、こだわり抜いた品質の商品だけを、お客様にお届けしています。

はかる「秤量」



国内外の原材料メーカーから運ばれてきた原材料を秤量器で計ります。秤量を終えた原材料は製造工程へと運ばれます。

無塵服

秤量作業から充填作業までのクリーンルーム内ではポリエステル 100%で、静電気が起きにくく、埃がでない無塵服を着て作業しています。クリーニングの際も特別の処理をしています。

つくる「調製」



原料を油系、水系に分けてそれぞれの釜に投入し、混ぜ合わせます。混ぜ合わせた原材料は真空乳化釜に送られ、ここで化粧品の中身(バルク)がつくられます。

出来上がったバルクは、ストレージタンク室にパイプで送られ、貯蔵されます。

クローズドシステム

調製から充填までの工程は外気から完全に遮断されたクローズドシステムになっています。細菌等の混入を防ぎ、純粋な無添加化粧品を製造することができます。

つめる「充填」

中身(バルク)をびんに詰めます。充填ブースはクラス 100 のクリーンブースとなっており工場内で最もきれいな環境となっています。



クラス 100 のクリーンブース

クラス 100 とは、30cm の空気の立方体の中にある塵や雑菌が 100 個以下ということです。通常は同じ範囲の中に数百万個の塵や雑菌が入っています。

100 レベルは医薬品などもつくれる清潔さです。

つつむ「包装」

充填された製品を化粧箱やプラスチックのケースなどにいれます。包装する際にも、スタッフは帽子・手袋を着用し、いつも清潔状態をキープします。

包装が済んだ商品には、作りたて新鮮の証として製造年月日を印字します。

